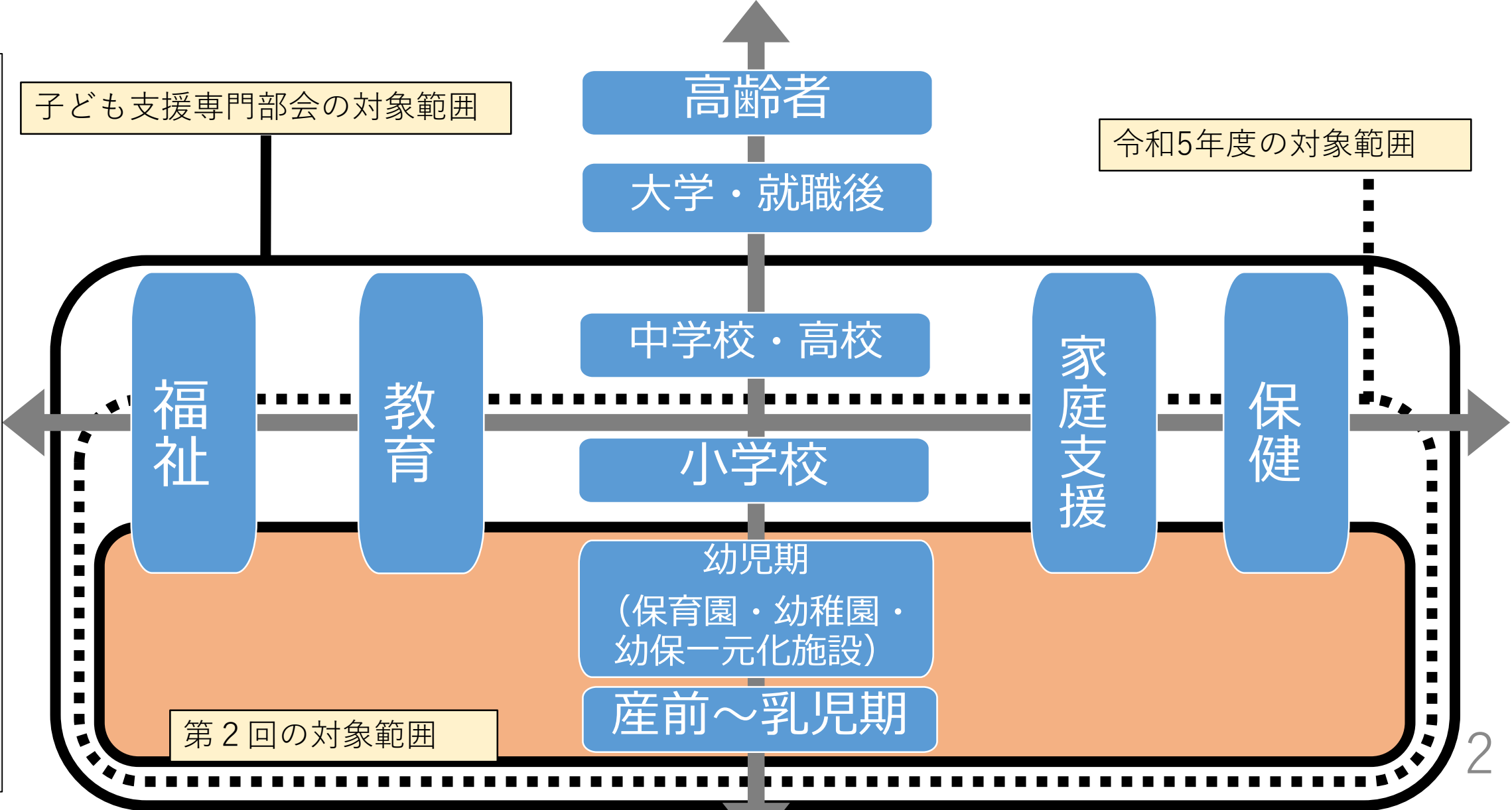


出生時から幼児期における 支援の切れ目について

年代ごとの支援者の連携（縦の連携）

分野ごとの支援者の連携（横の連携）



【修正】



保育園・幼保一元化施設
巡回相談

保健サービスセンター
乳児健診
1歳6か月児健診
3歳児健診

幼稚園
巡回相談

就学支援ファイル・シート作成
教育指導課

小学校（通常級・特別支援学級）
特別支援学校
スクールカウンセラー

中学校（通常級・特別支援学級）
特別支援学校
スクールカウンセラー

教育センター

子ども家庭支援センター

障害児相談支援

児童発達支援

放課後等デイサービス

関係者へのヒアリングで把握した地域課題

- ①保護者支援
- ②情報共有
- ③縦横の支援者の連携（縦：年代別 横：分野別）
- ④グレーゾーン・発達支援
- ⑤人材育成
- ⑥セルフプラン・相談支援

【参考】※第1回資料から一部抜粋 ヒアリングの実施（区立保育園）

- ・ 要配慮児が増えたが、保護者支援も含め保育士のマンパワー頼りになっている。
- ・ 保育園は子どものニーズを捉える場として重要だが、困り感の乏しい保護者も存在する。地域の特徴として学歴が高く、権利意識の高い家庭も多い。時間をかけ寄り添うことが大切。
- ・ 就学後に児童の行動などが目立つようになると、就学先から保育園側の責任を追究される雰囲気がある。
- ・ 就学支援シートが特別なものとして抵抗感を示す保護者もいる。
- ・ BSSP（文京スターティング・ストロング・プロジェクト）や巡回相談など保育現場を支えるシステムはある。

区立幼稚園・幼保一元化施設における対応等①

- ・ 要配慮の園児やその保護者への対応
- ・ 入園前の関係機関とのやりとり
- ・ 在園中に園児や家庭の課題が見つかった場合の関係機関とのやりとり
- ・ 就学時、就学後の小学校とのやりとり
- ・ 巡回相談、保育所等訪問事業、BSSP、ふみの輪、就学支援ファイル・シートの活用状況

区立幼稚園・幼保一元化施設における対応等②

- ・「発達的に気になるが、まだ支援に繋がっていない園児とその家族」へ行っている対応または必要だと思われる対応
- ・ 地域（町会等）との連携した取り組み
- ・ 在園児以外の児童についての保護者等からの相談
- ・ 要配慮児対応についての研修等
- ・ 対応可能な要配慮児の程度、加配の教員がつく要配慮児の程度

第1回子ども支援専門部会と事後アンケートでの意見等①

- ・ 保護者が支援のニーズに気づけず、支援につなげられない
（参考）R4地域支援フォーラム【別紙1】
- ・ ワンストップ窓口の設置
- ・ 情報共有における個人情報の壁

第1回子ども支援専門部会と事後アンケートでの意見等②

- ・事例検討の実施
- ・子ども支援に関する現状の把握、提供できる情報のまとめ
（参考）障害者福祉のてびき（障害児関係箇所）【別紙2】
- ・当事者の声を把握

【第4回子ども支援専門部会】

第1回～第3回の内容をまとめ、R6以降の方針案を提示（予定）